

学力向上を図るための全体計画 令和6年度 小平市立小平第十三小学校

- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 東京都教育委員会の教育目標・基本方針
- 小平市教育振興基本計画

小平市立小平第十三小学校 学校教育目標

- ◎ **自ら考え行動する子ども**
- **仲良く助け合う子ども**
- **明るく元気な子ども**

- 学校、児童・地域の実態
- 期待される児童像
- 保護者の期待や願い
- 地域の期待や願い

【目指す学校像】

自ら学び、かかわり、他と共に生きる
こどもが育つ学校

- 特別な教科 道徳の指導の重点
- ・道徳の実践力の育成
 - ・道徳的価値の自覚と涵養

- 外国語活動の指導の重点
- ・コミュニケーション能力の育成

- 総合的な学習の時間の指導の重点
- ・教科横断的な学びの獲得
 - ・問題解決能力の育成
 - ・自分らしさの発揮

- 特別活動の指導の重点
- ・クラブ活動・委員会活動の充実
 - ・教科等との関連
 - ・適切な合意形成と意思決定
 - ・たてわり班による活動
 - ・人間関係形成力・社会貢献・自己実現を目指した諸活動

- 生活指導の重点
- ・「スマイル13」の徹底
 - ・全教職員による児童理解の充実
 - ・避難訓練、安全指導等の実施
 - ・基本的生活習慣の徹底と定着

- 特別支援教育の重点
- ・スクールカウンセラー及び特別支援教室専門員との連携
 - ・保護者や関係機関との連携相談

- 進路指導の重点
- ・体験的な学習を通じた勤労と生き方への指導
 - ・将来にわたって夢や希望を抱く指導

各教科の指導の重点

- **国語科**
 - ・国語を適切に表現し正確に理解する力の育成
 - ・伝え合う力の定着と向上
 - ・国語を尊重する態度の育成
- **社会科**
 - ・学年の課題に合った資料（地図・写真・文章）を読み取る力の育成
 - ・課題の解決に向けて、考えたことや選択・判断したことを説明したり、話し合ったりする力の育成
- **算数科**
 - ・既習事項を活かして、自ら課題解決に取り組む児童の育成
 - ・基礎・基本の定着
- **理科**
 - ・具体的、体験的な活動から課題を導き出す力の児童の育成
 - ・課題の解決に向けて、予想、事実、実験を積み重ね、分かったこと、考えたことを説明したり、話し合ったりする力の育成
- **生活科**
 - ・具体的な活動や体験の充実
 - ・自分と身近な人々、社会や自然とのかかわりに関心をもち、自立への基礎の育成
- **音楽科**
 - ・音や音楽を通じた、友達と協働する力の育成
 - ・音楽的な根拠をもとに自分の考えをもち、表現や聴き方に生かす力の育成
 - ・主体的に音や音楽に関わったり試行錯誤したりする力の育成
 - ・豊かな情操の育成
- **図画工作科**
 - ・造形的な創造活動の基礎的な能力の育成
 - ・豊かな情操の育成
- **家庭科**
 - ・衣食住などに関する実践的・体験的活動の充実
 - ・家庭生活を大切にする心身の育成
 - ・家族の一員としての実践的な態度の育成
- **体育科**
 - ・適切な運動の経験と健康安全についての理解
 - ・生涯を通じて、健康・安全な生活を送るための基礎の育成
 - ・基本的な動きや技能と体力の向上

学力向上に向けた具体的な手立て

- 1 基礎・基本の定着
 - 授業にかかわる児童の意識調査（年2回）を実施し、結果を基にした授業改善
 - 東京ベーシック・ドリルや学習アプリを活用した、習熟度別によるきめ細かい算数科指導
- 2 問題解決的な学習の意図的・計画的な実施
 - 児童の発達段階や実態に合わせた課題設定
- 3 児童が「自ら」「他と共に」学ぶための工夫
 - 児童の学びを支える指導感の共有
 - 学習形態の工夫（個・ペア・バズ・グループ等）
- 4 考える楽しさを味わわせ、思考力・判断力を高める授業
 - 具体的な教材や掲示物の工夫
 - 体験的な学習の充実
 - 地域の教育資源を活用した授業

学習基盤

- 1 学習規律と学習習慣
 - 学習道具の準備
 - チャイム着席
 - 授業の始めと終わりのあいさつ
 - 学習規律の徹底
 - 話し方「はい・立つ・です」の活用
 - 家庭学習
- 2 朝学習
 - 「漢字練習」「計算練習(金曜日東京ベーシック・ドリル等)」
 - 「読書」の10分間の集中トレーニング
- 3 十三小スタンダード
 - ホワイトボードによる、学習の流れの理解（授業展開）
 - ・課題
 - ・めあて
 - ・自分の考えをもち
 - ・ペア、グループ交流、ノートを見合う活動
 - ・全体交流
 - ・まとめ
- 4 学習の補充
 - 放課後の時間を活用した補習教室の実施
 - サマースクール
 - 算数学習ボランティア
 - 学習者用端末等を活用した家庭学習

【授業改善に向けた校内体制】		
指導体制の改善	学習基盤の充実	プランの評価・改善
1 学級担任に、学習補助員を加えた、複数のスタッフによる指導システム（1～3年生） 2 授業改善推進プランの作成と授業改善 →研究授業、研究協議会の実施を通して 3 学力向上（習熟度）委員会の設置 →教務主任・算数担当・実施学年主任で構成し、習熟度別算数指導の方法について協議する。	4 学年会の確保 →会議の精選・効率化 5 放課後や夏休みの個別指導の確保 →週時程の工夫・補習教室等の確実な実施 6 学習支援ボランティアの活用 →ボランティアの運営組織 7 算数学習ボランティアの登用 8 エデュケーションスタッフの活用	1 前年度の全国学力・学習状況調査及び、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果や学期ごとに行う。 2 東京ベーシック・ドリルの診断テストの結果から、課題が改善されたかを分析し、全体計画及び各学年のプランの修正を行う。

	身に付けさせたい力	授業改善プラン
国語科	◎自分が伝えたいことを、順序を考えて話し、話の内容を正しく聞き取る。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを話す場面を計画的に設定する。 話型を示し、事柄の順序を考えて話をさせる。 話の聞き方のルールを身に付けさせる。
	◎事柄の順序や場面の様子に気付き、内容を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> 文章の基礎的な読み取りの仕方を学び、読み取った内容を動作化や音読で表現する機会を設ける。
	◎ひらがな、カタカナ、漢字を正しく習得し、語彙を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> プリントやドリル、学習者用端末を活用し、授業、朝学習、家庭学習で毎日、言葉や文字の練習をさせる。 授業時に多くの言葉を出し合うことにより、言葉の正しい知識を身に付けさせる。また、例文作りなどを行い、生きて働く言葉の使い方ができるようにする。
算数科	◎基礎的な計算力を定着させる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業や家庭学習で毎日、計算カードやフラッシュカード、学習者用端末、プリントなどの練習に繰り返し取り組み、定着を図る。
	◎自分の考え方を表現し、説明する。	<ul style="list-style-type: none"> 問題文に印を付けて読むことで、分かっていることや聞かれていることを整理する。 問題を読み取ったことをブロックで操作したり、図で表現したりしてから立式する。 友達と考えを説明し合う活動を増やす。
生活科	◎自然や身の回りのものに興味・関心をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 自然や身の回りに関心をもたせる題材や教材を用意する。観察したことや気付いたことを文章や絵で表現したり、伝えたりさせる。
	◎友達と協力しながら、身近な人や自然、文化とかかわって楽しく活動しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> 児童が楽しく活動できる単元を設定し、友達の考えを知る場を多くする。
音楽科	◎友達の声や音と合わせて楽しく歌ったり演奏したりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 体の動きを伴った活動や互いに聴き合う活動を取り入れ、友達と一緒に演奏する楽しさを味わえるようにする。
	◎鍵盤ハーモニカなどの楽器の基本的な奏法を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> 正しい奏法や演奏の仕方の工夫による音色の変化に気付かせたりするために、毎時間、楽器に触れる時間を設ける。
図画 工作科	◎感じたことや想像したことを楽しく表現する。	<ul style="list-style-type: none"> 児童のいろいろな発想を肯定し、児童の思いや想像を広げる題材を計画的に取り入れる。
	◎身近な材料やはさみなどの道具の使い方に慣れる。	<ul style="list-style-type: none"> 写真や映像などを見せながら、材料の特徴や道具の正しい使い方を指導する。 制作時間を十分に確保する。
体育科	◎安全に気を付け、友達と仲良く運動に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 友達同士で声を掛け、励まし合いながら準備・片付けや運動に取り組ませる。
	◎様々な運動を経験し、身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく運動できるような活動の場の設定や、映像や掲示物などの学習資料を活用し、体の動かし方をイメージしやすいようにする。
特別の 教科 道徳	◎一人一人が自分の考えをもち、よりよく生きるための心情を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 場面絵や動作化などを通して、場面設定を分かりやすくし、心情を想像しやすくする。
	◎道徳的価値の自覚を深め、現実の生活に生かす。	<ul style="list-style-type: none"> 授業の導入や自分についての振り返り、終末の話では、学校生活や家庭生活での体験を思い出させることで、道徳的価値と結び付けさせる。

	身に付けさせたい力	授業改善プラン
国語科	◎順序よく話したり、大事なことを落とさないで聞いたりする。	・自分の考えを話す場面を計画的にとる。話し方の話型を示すことで順序よく話せるようにしたり、話の聞き方のルールを身に付けさせたりする。
	◎文章の読解や文章を書く力を伸ばす。	・文章の基礎的な読み取りの仕方を学び、自分の考えなどを順序を考えて書くことを通して日常的に書く習慣を身に付けさせる。文の構成を意識して書けるようにする。
	◎カタカナ、漢字を正しく習得する。	・スキルとデジタルドリルを活用し、授業、朝学習、家庭学習で毎日カタカナや漢字の練習をさせる。作文などの添削を丁寧に言い、書き直しをして習得させる。
算数科	◎基礎的な計算力を定着させる。	・授業の初めや、単元のまとめの時間に、計算スキルやデジタルドリルで繰り返し練習させ、基礎的なたし算・ひき算の計算の習熟、かけ算九九の暗唱ができるようにする。また、AI機能を搭載したタブレットアプリを活用することで得られるデータも活用し、きめ細かく学習の状況を把握・分析したり、個々の児童に合った多様な方法で学んだりしていくことで、確実な資質・能力の育成につなげる。
	◎考え方を図で表したり、発表したりする力を高める。	・問題を読み取り、図や言葉、式で表現したり、全体の中で発表したりする機会を意図的に設定する。考えを説明するための話し方の話型を示す。
生活科	◎自然や身の回りのものに興味・関心をもち、自分の気付いたことや自分の思いを伝える。	・自然や身の回りに関心をもたせる題材や教材を活用する。観察したことや気付いたことを文章や絵で表現したり、伝えたりさせることで、関心を高める。
	◎友達と協力しながら、身近な人や自然、文化とかかわって楽しく活動しようとする。	・児童が楽しく活動できる場面を設定し、意見を出し合せていろいろな考えに触れさせることで、人や自然、文化とのかわりに気付かせる。
音楽科	◎友達の声や音と合わせて楽しく歌ったり演奏したりすることができる。	・体の動きを伴った活動や互いに聴き合う活動を取り入れ、友達と一緒に演奏する楽しさを味わえるようにする。
	◎鍵盤ハーモニカなどの楽器の基本的な奏法を身に付ける。	・正しい奏法や演奏の仕方の工夫による音色の変化に気付かせたりするために、毎時間、楽器に触れる時間を設ける。
図画工作科	◎クレパスや絵の具の使い方を身に付けたり、材料の特性を生かしたりして、生き生きとした作品を生み出す。	・絵の具の使い方をさらに習熟させたり、材料の特性を感じさせたりして、生き生きとした自由な表現をさせる。
	◎友達の作品の良さに気づき、自分の作品にも取り入れようとする。	・友達の作品をお互いに認め合い、その良いところを吸収し合う場面を設定する。
体育科	◎安全に気を付け、友達と仲よく運動に取り組む。	・安全に配慮した運動の仕方を実際の動きを見せることで意識させる。 ・励まし合いながら運動に取り組ませるようにする。 ・勝敗にこだわらず、力を合わせて運動に取り組めるようにする。
	◎鉄棒・なわとび・水泳・体づくり等の一人一人の技能を高める。	・鉄棒・なわとび・体づくり等、各授業で振り返りの時間を設け、目標をもって努力することを大切にする。
	◎表現、リレー・ボール遊びなどの集団的なゲームに楽しんで取り組む。	・一人一人の小さな達成を友達と大きく喜び合う場面を設定する。勝敗にこだわらずに、頑張ったことを認め合うような声掛けをする。
特別の教科 道徳	◎一人一人が自分の考えをもち、よりよく生きるための心情を育てる。	・児童の心に響く教材を選ぶ。 ・誰でも自分の考えをもち発言できるように、発問を工夫する。
	◎道徳的価値を現実の生活の中に生かす。	・授業の導入や自分についての振り返り、まとめの話では、今後の学校生活や家庭生活での生かせる発問を行い、道徳的価値と結び付けさせる。

	身に付けさせたい力	授業改善プラン
国語科	◎叙述から根拠を明確にして自分の考えをもち、文章に書き、発表や話し合い活動で表現できる。	・注目すべき叙述にラインを引き、自分の考えの根拠を明確にする。多様な考えを引き出す問いをするとともに、ペアやグループでの話し合いを通して自分の考えと他の考えの違いに気付けるようにする。
	◎読み取った事実と自分の考えを分けて表現することができる。	・文章の型を示し、事実と考えを整理させる。話し合い活動の際、よい表現を取り上げたり、話型を取り入れたりする。
	◎主語と述語の関係や文章のねじれ、話し言葉と書き言葉の区別に気を付けるとともに、文章中で漢字を使うことができる。	・音読や漢字練習の宿題の習慣化、ミニテストやデジタルドリルの活用を通し、既習漢字や言葉の学習を繰り返し復習させることで定着を図る。
社会科	◎八方位や地図記号、小平市の特徴、地図や資料の読み取り方法等の基本的な知識を身に付ける。	・地図や資料を学習者用端末で共有したり、デジタルドリルを活用して繰り返し練習することで、既習事項の定着を図る。
	◎調べる観点にもとづいて、地図や資料を読み取り、調べて分かったことや自分の考えを表現することができる。	・地図や資料から読み取れる事実だけでなく、その特徴の理由や、今の生活やこれからの生活と関連付け、比較することで、自分の考えをもたせる。
算数科	◎計算練習に意欲的に取り組み、自信をもって正確な計算ができる。	・朝学習の時間や単元のまとめの時間を活用し、デジタルドリルに組み込み、AI解析により一人ひとりのつまづきに対応した問題に組み込み、既習事項の定着を図る。
	◎計算の意味や計算の仕方を言葉や式、図等を用いて表現し、考えたことを伝えることができる。	・計算の意味や仕方を、言葉や数、式、図、数直線等を用いて説明させる。自分の考え、グループでの交流、全体共有という学習の流れで授業を展開する。
理科	◎課題に対して、日常生活の身近なことと結び付け、理由を考えながら予想を立てることができる。	◎観察や実験を行う際には、目的や視点、条件を明確にする。
	◎結果から自分事として考察でき、児童なりの結論をもつことができる。	・「課題把握」→「予想」→「観察・実験」→「結果」→「考察」→「結論」という理科の学習の流れで授業展開する。
音楽科	◎友達の声や音と合わせて歌ったり演奏したりすることができる。	・互いの歌声や演奏を聴き合ったり、伴奏の響きや副次的な旋律の響きを聴きながら演奏したりする活動を取り入れる。
	◎感じたことや気付いたことを自分の言葉で表現できる。	・曲想を表現できる言葉や話型を提示し、それを活用して言葉や文章でまとめる機会を設定する。
図画工作科	◎題材に興味をもって取り組み、道具を適切に扱うことができる。	・いろいろな道具や素材に触れさせ、工夫して取り組めるような題材を設定する。
		・道具の正しい扱い方と安全指導を授業の導入時の説明と個別指導で徹底する。
		・個別指導の際に自分で考える時間を大切に、必要に応じて適切な助言を行う。
体育科	◎運動することの楽しさを実感できる。	・運動のポイントを明確に示し、スモールステップを用いて、できた喜びを実感させる。
	◎友達の良さを伝え合ったり、ポイントを意識して運動に取り組んだりすることができる。	・学習者用端末で自分の動きを確認したり、ペアやグループで活動したりすることを通して、友達と教え合いながらそれぞれの動きのポイントを意識して学習できるようにする。
	◎勝敗だけにとらわれず、課題を解決したり、チームの目標を達成したりして喜びを味わうことができる。	・振り返りの時間を確保し、めあてに対してどうだったのかという振り返りを必ず行う。
特別の教科 道徳	◎自分自身の生活を振り返り、より良い自分の姿を考えることができる。	・児童の意見を積極的に共有し、様々な考え方があることを理解できるようにする。
		・自分の経験や道徳的価値に向き合うために、書いたり話し合ったりする時間を十分に確保する。
外国語活動	◎外国語を用いて、コミュニケーションを図る楽しさを味わう。	・歌やゲーム、アクティビティの活動を取り入れ、コミュニケーションを図ることにつなげる。

身に付けさせたい力		授業改善プラン
国語科	◎漢字の読み書きを正しく身に付け、本に親しみ語彙を増やす。	・朝読書や国語の時間で、読書の時間を確保したり、地域の図書館利用を推奨したりする。 ・漢字ドリルやデジタルドリルを活用し、繰り返し練習する機会を設け、学習の日常化を図る。
	◎自分の考えとその根拠となる事柄の関係を明確にして表現する。	・文章や発表の基本の型を示し、自分の考えの根拠となる部分を具体的に示す。
	◎筋道を立てて考える力や豊かに想像したりする力を身に付け、日常生活において伝え合う力を高める。	・話の中心や場面の様子に着目し、登場人物の心情を想像したり、考えを共有したりする時間を十分に確保する。 ・話し合い活動の際、学習者用端末やワークシートを活用し、多様な考えにふれる場を設定する。
社会科	◎調査活動、地図帳や各種資料を読み取り、必要な情報を調べ、まとめる技能を身に付ける。	・資料を読み取る視点を示して、地図帳や各種資料を読ませる。必要に応じて地図や表、グラフ、画像等の資料を学習者用端末で配布し、情報共有や学習のまとめに活用させる。
	◎考えたことや分かったことを具体的に表現する。	・資料から読み取った事実だけでなく、そこから何が分かるのか、自分たちの生活とどう関連付けられるのか、考えさせる活動を授業の中に組み込む。
	◎学習したことを自分の生活に生かす。	・単元の最後に学習したことや考えたことをノートや新聞、ポスターなどにまとめ、どうやって自分の生活に生かせるかを考えさせ、議論、実践させる。
算数科	◎整数・小数・分数の計算、図形の構成、定規や分度器の操作、表やグラフに表す技能を伸ばす。	・計算ドリルやデジタルドリルで繰り返し練習する。AI機能を用いて、苦手な問題を中心に組み立てるなど、学習の個別最適化を図る。 ・朝学習の時間にベーシックドリル、診断テストを活用した反復練習を行う。
	◎解決方法や結果について交流し、多面的に捉え思考する力を身に付ける。	・既習事項を確認した自己学習の時間、考えたことや発表や交流・検討の時間を十分に設定し、多様な考えにふれられるようにする。
理科	◎観察したこと、実験して分かったことを関連付けて考えを深める。	・観察の視点や実験の目的を明確にし、予想、計画、実験、観察、記録、考察、まとめをさせる。
	◎自然に対する興味・関心をさらに高め、より細かく観察する。	・観察しにくい内容については、実物の提示や学習者用端末での動画・写真の提示を行い、視点を絞って観察できるようにする。
音楽科	◎友達の声や音と合わせて歌ったり演奏したりすることができる。	・互いの歌声や演奏を聴き合ったり、伴奏の響きや副次的な旋律の響きを聴きながら演奏したりする活動を取り入れる。
	◎感じたことや気付いたことを自分の言葉で表現できる。	・曲想を表現できる言葉や話型を提示し、それを活用して言葉や文章でまとめる機会を設定する。
図画工作科	◎自分の発想や基礎的な技能に自信をもつ。	・授業中に友達の作品を鑑賞する機会を意図的に増やし、工夫した事や良いところを認め合う場面を設定する。 ・新しい道具は、導入時に丁寧に説明し、児童間で確認し合い、安全かつ適切に扱うことができるようにする。
	◎場や用具の安全に気を付け、友達と励まし合い、教え合いながら協力をして運動に取り組むことができる。	・各単元の導入で場や用具の扱い方を重点的に指導する。また、友達との関わり合いの仕方を明確にして基本の型を示す。
体育科	◎運動の特性に応じた技能を身に付ける。	・技能ポイントを明確に伝える。友達同士で見合ったり、学習者用端末で撮影したりして、ポイントに気付かせる。自分の課題や練習方法の工夫を意識させて技能を身に付けていく。
	◎自分のめあてをもち、課題解決への意識を明確にしながら、主体的に学習に取り組むことができる。	・学習カードで自己を振り返り、自分の課題を確実にもたせる。課題解決に向けた練習方法を提示し、見通しをもって取り組ませる。
特別の教科 道徳	◎登場人物の気持ちを考えたり、友達の意見を尊重したりする。	・役割演技や意思表示カード等を積極的に取り入れ、考えやすくとともに、考える時間や話し合う時間を十分に確保し、様々な考え方があることを理解させる。
	◎自分自身の生活を振り返り、より良い自分の姿を考えることができる。	・自分の経験や道徳的価値に向き合うために、友達の考えと自分の考えを比べる時間や自分の考えを書く時間を十分に確保する。
外国語活動	◎外国語を通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。	・英語の歌やゲームなどの活動を工夫して取り入れる。
	◎主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。	・友達とコミュニケーションとりながら行う活動を授業の終末で取り入れる。

	身に付けさせたい力	授業改善プラン
国語科	◎筋道を立てて話したり、話し手の意図を考えながら聞いたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に計画書を作成させるなど、円滑に話すための計画を立てさせる。 ・聞き手に伝えたい内容、声の大きさ、話す速さなど自分の課題を意識させる。 ・聞き手の立場から、話し手の話し方の良いところや伝えたいことを感じながら聞く活動を取り入れる。
	◎自分の考えの中心をはっきりさせ、読み手に分かりやすい文章を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が一番伝えたいことを明確にし、構成メモを作るなどしながら、書く内容や順序を整理して書く活動を行う。 ・「始め・中・終わり」の文章構成や自分の主張を意識して書かせる。 ・学習者用端末を活用し、手書きだけでなく、タイピングで文章を打ち込む経験を積ませる。
	◎文章の内容を的確に押さえながら、要旨を捉える。	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を大まかに捉える活動を学級全体で行うとともに、グループ学習も取り入れることで、児童一人一人が読解の根拠となる部分についての的確に捉えようとする機会を設ける。 ・学習者用端末を用いた児童相互の交流を通して、読み取りの内容をより深めさせる。
社会科	◎地図帳や統計、年表などの複数の資料を通して情報を適切に読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・索引の使い方、各種グラフや統計資料の読み取り方など、様々な資料を活用する練習を行う。 ・資料の中の共通点や相違点に注目して読み取らせる。
	◎日本の国土や産業についての課題をもち、すすんで調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習問題を明確にした上で調べ学習を行い、分かったことを自分の言葉でまとめさせる。 ・地図帳や地球儀を活用し、世界の主な大陸と海洋、国の名称と位置関係について調べ、正しく理解させる。
	◎よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易や国際交流、SDGsなど、あらゆる場面での世界各国との結び付きを調べ、理解を深めさせる。 ・国際社会において自分がどのようにかかわっているのかを考えさせる。
算数科	◎学習課題に意欲的かつ粘り強く取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を活用した課題解決の方法を考え、表現させる。 ・習熟度別コースの実態に応じて、全体で考える時間をとり、課題解決の見通しをもたせる。 ・デジタルドリルのAI機能を活用し、個々に合った課題に取り組ませる。
	◎小数の乗法や除法などの基礎的な計算力を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ベーシックドリルやデジタルドリルなどを活用し、4年生までの内容も含めて、基礎・基本の定着を図る。 ・授業の始めの時間や朝学習の時間、家庭学習などにおいて、紙・デジタルの両面で繰り返し演習に取り組ませる。
理科	◎物の変化の仕方や規則性について調べ、まとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事象を提示して、学習問題を立てさせる。 ・問題に対する答えを予想し、観察・実験を行い、その結果を受けた考察を自分の言葉でまとめるという学習の流れを定着させ、科学的な事象についての理解を深める。
	◎生命の連続性、流水の働き、気象現象の規則性について調べ、まとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験の結果から、多様性と妥当性を意識した上で考察ができるよう、他班の結果を共有する時間をとる。
音楽科	◎パートの役割を理解して、友達の声や音と合わせて歌ったり演奏したりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの演奏を聴き合ったり、自分のパートと他のパートとの関わりを意識させて演奏したりする機会を設ける。
	◎思いや意図をもって演奏したり音楽づくりをしたりできる。	<ul style="list-style-type: none"> ・思いや意図を音楽表現につなげるために、曲想を表現できる言葉や話型を活用して、自分の言葉でまとめさせる。
図画工作科	◎想いや発想を生かして、限られた条件の中でも作品をつくらることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・経験した事を生かし、新たな材料や道具を用いて、発想を広げる。 ・個々の児童の得意な部分を生かしながら、苦手な分野についても技能が向上するように指導する。
	◎家庭生活に必要な知識や技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・手縫いの練習時間を多めに設けるようにし、習熟させる。 ・調理実習を通じ、調理器具を安全に使えるようにする。
体育科	◎自己の課題を把握し、練習方法や運動の仕方を選択したり工夫したりさせることで、体力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを味わえるように、場の設定や教材教具、技能ポイントの掲示などを工夫する。 ・自分の体力に合わせた課題を設定したり、達成できたかどうか自己評価したりすることができる学習カードを用意する。
特別の教科 道徳	◎自分の生活を振り返り、長所や短所を受け止め、伸ばしたり改善したりしようとする態度を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・互いのよさについて考え、伝え合う機会を設ける。 ・毎時間の最後に、自分の生活を振り返る時間をとる。 ・規則を守ることや善悪の判断など、正しい行動について考える時間をとる。
外国語科	◎実際のコミュニケーションの場面において活用できるような基礎的・実用的な技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTと多く関わる授業計画を立て、児童が話す・読む・書く機会を意識的に確保する。

	身に付けさせたい力	授業改善プラン
国語科	◎目的や意図に応じた話し方を身に付けさせるとともに、話し手の意図を自分の考えと比較しながら聞く。	・事実と感想、意見等を区別して話すようにする。集めた材料を分類したり関係付けたりして、話す内容をまとめる。様々な立場から考えを伝え合う活動をする。
	◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えて書く。	・「考えと理由や事例」、「原因と結果」、「疑問と解決」などの繋がりや配列を意識して書かせる。提案文章やパンフレットなどを書くときは構成メモを作成し、推敲を繰り返しながら書くように指導する。
	◎文章全体の構成を捉え、要旨を把握して読む。	・事実と感想、意見等との関係を叙述を基におさえ、話し合い活動や学習者用端末を活用し、児童同士の交流を図る。
社会科	◎地図帳や統計、年表などの複数の資料を通して情報を適切に読み取る。	・複数の資料を比較し、共通点や相違点を明らかにする活動に取り組む。読み取ったことを白地図や年表、図表などにまとめる。
	◎歴史や政治についての課題をもち、すすんで調べる。	・調べ学習では図書室や学習者用端末を活用して、課題を的確に把握させ、調べる視点や方法について指導する。調べた内容を学習者用端末を使って共有する。
	◎より良い社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとする。	・学習を振り返り、今と昔を比較し、自分事として考える活動を取り入れる。自分が社会にどう働き掛けていくか、自分にできることを考えていく。
算数科	◎課題に意欲的かつ粘り強く取り組む。	・既習事項を活用しながら問題を解決させる。個人→グループ→全体という流れで学習させる。 ・デジタルドリルのAI機能を活用し、個の能力・課題に合った問題に取り組ませる。
	◎分数の除法の計算を身に付けたり、問題場面の数量の関係に着目し文字を用いた式を理解できたりする。	・朝の時間や、授業の終末にベーシックドリルやデジタルドリルを積極的に活用して基礎・基本の定着を図る。 ・数直線を描かせ、数量の関係を捉えさせる。
理科	◎月の形の見え方と太陽との位置関係について理解できるようにする。	・実際に観察したり、モデルや図で表したりして多面的に調べる。 ・移動教室の際に、夜間の観察を行い天体に対する興味や関心を高める。
	◎観察・実験の結果を考察し、自分の考えを表現する。	・日常生活との関連や、既習事項から観察や実験の結果を考察できるようにする。 ・学習者用端末を活用し交流する。
音楽科	◎パートの役割を理解して、友達の声や音と合わせて歌ったり演奏したりすることができる。	・互いの演奏を聴き合ったり、自分のパートと他のパートとの関わりを意識させて演奏したりする機会を設ける。
	◎思いや意図をもって演奏したり音楽づくりをしたりできる。	・思いや意図を音楽表現につなげるために、曲想を表現できる言葉や話型を活用して、自分の言葉でまとめさせる。
図画 工作科	◎自分の個性を発揮し、想いや発想を豊かに表現する。	・児童が興味を抱きやすい題材を設定する。 ・一人一人の発想や想いを認め、表現する力を伸ばす。
家庭科	◎自分の生活を見直し、実践していく知識・技能を身に付ける。	・目的に応じた縫い方が出来るように指導する。 ・学習者用端末で、目的に応じた縫い方や、ミシンの糸の通し方を確認させる。 ・栄養のバランスを考えて献立を作成し、調理できるよう計画を立てさせる。
体育科	◎課題解決のための方法や活動を工夫し、自分や友達の考えを互いに伝え合えるようにする。	・学習カードを用意して、課題を設定して取り組ませる。評価のポイントを明示して、学習者用端末を用いて動きを確認しながら自己評価・相互評価させる。 ・自ら課題を設定し、課題解決する喜びを感じながら、主体的に取り組むことができるような授業の流れや場の設定を工夫する。
特別の 教科 道徳	◎自分のよさを知り、自信をもって様々な活動を積極的に行う。	・心情図を用いて考え、考えたことや思ったことを可視化しながら、伝え合う機会をもつ。 ・授業や様々な活動の中でそれぞれのよさを認め合う機会や、自分と違う考えを受け止める機会を作る。
外国語科	◎外国語の音声や表現に親しみながら、コミュニケーションの力を付ける。	・CD、ピクチャーカード等を使ったり、ゲームやアクティビティーなどを取り入れたりと、楽しみながら活動できるように工夫する。